

WACATE Magazine Vol.15

✿ ご挨拶 ✿



こんにちは。WACATE-Magazine 編集部です♪
左の写真は前号のお手伝いをしてくださった
皆さんと JaSST' 10 Tokyo 会場で撮影した
貴重な記念写真です♪

前号でご紹介させていただこうと思ったのですが
タイミングがなかなか合わず、
今号に掲載することになりました。
皆さん、本当に有難うございました★

三寒四温がやってきましたね。
寒暖が繰り返される時期ですが、
皆様もお身体にはお気をつけてくださいね。

ちなみにスター★が真ん中にいるのは仕様ですw

✿ vol. 15 のお品書き ✿

- p. 01 ご挨拶/お品書き/WACATE TOPICS
- p. 02 【特 集 1】 第 25 回ソフトウェア品質管理研究会 (SQiP) Report!
- p. 05 【コ ラ ム】 もうひとつの報告会「プレゼン奮闘記」
- p. 06 【コ ラ ム】 CEGTest 勉強会を経て
- p. 07 【投 稿】 読書会コミュ「yomite.swtest」～みんなでソフトウェアテストの本を読む会～
- p. 08 【リレーコラム】 ワカテにきく。
- p. 09 【トピックス】 SoftwareTestTopics
- p. 10 【告 知】 WACATE ShortShort vol. 11
- p. 11 【連 載】 池田暁の「ミュージカルに恋して」
- p. 12 【不定期 連載】 コヤマンの「補給戦線異状なし！」
- p. 13 【連 載】 今月の STAR★
- p. 14 【リレーコラム】 WACATE-Blog 出張所
- p. 15 【連 載】 源太郎の「開運ソフトウェアテスト占い」
- p. 16 お知らせ/編集後記/おくづけ

✿ WACATE TOPICS ✿

[News] WACATE 2010 夏の開催が決定しました!! たぶん6月の初旬～中旬です!!

[News] WACATE ShortShort! 3/21 [sun] “ロイヤルアジャイルインスペクションワークショップ” 詳しくは [こちら](#)!

SQIP 第25回 Report!

ソフトウェア品質管理研究会

■「今こそ、現場と学問に根ざしたソフトウェア品質の追求」

昨年の4月から約1年間、私（おたべ）は日本科学技術連盟・第25回ソフトウェア品質管理研究会(SQIP研究会)のソフトウェアテスト分科会の演習コースに入って勉強していました。

SQIP研究会にはソフトウェアテスト技法の他にもソフトウェアプロセス評価・改善やプロジェクトマネジメントなど、6つの分科会と2つのコースに分かれ、個人や組織において有用な新技術の発明、および、既存技術の整理や実問題への適用ノウハウの顕在化について成果を挙げてきました。

今回は2月26日に行われた報告会について、その内容を簡単にレポートしていきます。

■プロセスは定着していますか ~テラリングガイド作成の手法の提案~

各社で標準プロセスを策定し、それを利用することでプロジェクトを成功に導こうと考えている会社は多い。また適切にプロセスを利用するには組織標準プロセスからプロジェクトプロセスに仕立て直す(テラリング)必要がある。ただし現場の問題点として、テラリングの基準が無く、適切なテラリングが実施できない結果、うまく回らないプロセスになってしまうことがある。そこで「テラリングガイドライン作成ガイド」の提案に至った。

◆テラリングパターン

「テラリングガイドライン作成ガイド」ではテラリングする際の量と質に関して注目した。

HAZOP(HAZard and Operability study)の考え方を参考に、テラリングパターンを「省略」、「簡略化」、「細分化・追加」、「統合」、「代替」の五つを利用することにした。また「簡略化」、「細分化・追加」に関しては質的(スキルレベル等)と量的(人数等)の二つの観点での増減を考慮した。

◆テラリング影響分析

あるプロセスに対する各テラリングパターンを適用した際の影響範囲を、FMEA(Failure Mode and Effect Analysis)のFailure Modeを各テラリングパターンに置き換えて記述する分析手法を開発した。

最終的にどのテラリングパターンを適用するか、影響範囲と製品の特性からリスク評価して判断可能なガイドを作成した。

■プロジェクト描画のための情報構造 ~正確なプロジェクト把握のために~

プロジェクトを成功させるには、意志決定の基となる正確な状況報告が欠かせない。その為の方法を提案する。

状況報告の内容は、報告相手の役割によってその種類と抽象度が変化する。状況を報告するということは、相手が必要とする観点からプロジェクトを描画することである。

報告相手が求める情報は、役割がプロジェクトメンバー、リーダー、マネージャー、役員と上になるほど抽象度が上がっていく。また情報の種類は現場から得られる原始データ(現在までに掛かった費用、開発済みコード量、課題など)から、加工データ(進捗状況や損益情報など)へと抽象度が上がり詳細情報はそぎ落とされていく。つまり正確な状況報告にはその基となる正確な原始データが必要になってくる。

◆進捗の観点での原始データ抽出例

作成する機能は記述済みか否か、レビュー実施の有無や重要度から進捗率を計算する。

その際の留意点は以下である。

- ・情報の粒度を合わせる
- ・画面数や機能数等、管理する単位を決める
- ・進捗を表現可能な、抽出する項目を決める
- ・レビュー等を実施し、一定の品質で進捗を測定する
- ・担当者の入力が大変でないようにする

◆結論

プロジェクトの情報は、情報層の最下層にある原始データから、上方向に抽象度を上げながら伝達されていく。その情報を正確に計測するためには、現場の状況を適切に表現する原始データを抽出しなければならない。

なお、プロジェクトにおける情報管理は予測した計画値との比較で求められるので、過度に精密である必要はない。

■設計者自身による設計品質の作り込み ~テストエンジニア視点の活かし方~

本研究の目的は、設計者自身が自分の作成した機能仕様書の品質を向上させる方策を見いだすことである。

そこで本研究では機能仕様とテスト仕様を同時に設計するというアクティビティが、設計者に不足しがちな観点を理解する上で有効ではないかと考察した。

◆機能仕様書とテスト設計書を同時に作成することの効用

- ・本人が書いていない機能仕様書をテスト設計することで、誤解や思い込み、記述ミスと言った欠陥に気付くこと
- ・テスト設計可能な機能仕様書の書き方が身につくこと
- ・機能仕様書作成時は漏れなく要件を記述することにより、テスト設計書作成時に機能仕様書の欠陥を検出することで、設計者の視点からテストエンジニアの視点へと切り替えがスムーズに行えること

◆結論

自分の作成した機能仕様書の品質を向上させるには、「正しいという思い込み」を排除すること、暗黙の了解など「無意識のうちに設定しているスコープ」に気付き、これを広げることが重要である。

■Light Weight な UCD 手法の提案 ~Scrum に UCD 手法は適用できるか~

UCD 手法の本質は、ユーザビリティの向上、すなわち「指定された状況下で利用者が製品を用いて目的を達成する際の、有効さ、効率及び、利用者の満足度合い」を高めることにある。そしてアジャイル開発プロセスの一つである Scrum を題材に、UCD 手法が適用可能なプロセスを抽出した。

◆結論

此处で使えそう。

↓UCD 手法 ↓Scrum 中のプロセス

1. シナリオ (スプリントゼロ)

スプリントゼロでシナリオを利用することで、プロダクトの利用シーンを Scrum メンバー内で共有することが出来、プロダクトバックログの検討をする上で役立つと考えられる。

2. ペーパープロトタイプング (スプリントプランニング)

ペーパープロトタイプングはプロダクトの完成イメージを紙で作成することで、早い段階で具体的かつコストを抑えて作成することが出来る。そのためスプリントプランニング時にスプリントゴールのイメージをより具体的にすることが出来る。

3. ユーザーテスト (スプリント)

Scrum 開発サイクルのテストにユーザーを参加させることで、利用品質をより高めることが出来る。

4. ヒューリスティック評価 (スプリントレビュー)

スプリントレビュー時にヒューリスティック評価を行うことで、ユーザビリティに関して専門家の経験則に基づいて静的かつ体系的なレビューを受けることが出来る。

◆結論

通常の Scrum では「動くプログラム」を作り、関係者間での共通認識を形成していくことを考えると、UCD 手法を取り入れた方がより効率的に関係者間での合意と共通認識を形成でき、「ユーザーが望むもの」に近づける事が出来ると考えられる。

■派生開発における影響箇所の把握改善によるテスト範囲の特定方法の提案

XDDP (eXtreme Derivative Development Process : 派生開発プロセス) に注目し、開発要件による影響度の可視化を狙い、テスト範囲を特定する方法を考案した。

◆機能間マトリクス

XDDP のトレーサビリティマトリクスと併用し、テスト範囲を特定可能な機能間マトリクスを開発した。機能間マトリクスでは派生開発における影響の種類を以下の三つに分類している。

- ・親子関係：変更箇所が呼び出し元となり、それ以外の箇所を呼び出す関係
- ・順序関係：変更箇所の後続でそれ以外の処理がされる関係
- ・競合関係：変更箇所とそれ以外の箇所とで資源が競合する関係

◆影響箇所の抽出

派生開発で使用されるトレーサビリティマトリクスから変更する機能を特定し、その機能を基に機能間マトリクスから親子関係、順序関係、競合関係にある他の機能を特定し、テスト範囲とした。

■派生開発における漏れ・無駄のないテスト設計

一つ前の報告と同様に、影響の範囲をカテゴリと影響因子に分類し、テスト範囲を特定する方法を報告していた。

◆カテゴリ

共通機能、共通リソース、モジュール間関係など、ある機能の変更により別の機能への影響を及ぼす可能性のある要素を分類したもの。

◆影響因子

通信機能など、カテゴリ内の具体的な要素。

■数値項目一覧表を用いた設計漏れ検出方法の提案

上流工程で発生する設計漏れや誤りに対し、その原因の多くを占める「数値に関連する設計漏れ」に着目することで、既存の開発プロセスを変更せずに解決する手法を検討した。

◆数値に関する設計漏れの問題点

- ・設計時、どのような数値に対して設計が必要か洗い出せていない
- ・設計時の見積りの精度が低い
- ・システム全体から個々の機能への展開時に設計漏れが発生する
- ・設計値に機能間で矛盾や不整合が生じる

◆数値項目一覧表

数値項目の抽出と項目間の比較が行い、設計漏れを検出可能な「数値項目一覧表」を考案した。

- ・設計対象の機能や処理、データに対して、「時間」「容量」「回数」「頻度」等のキーワード（観点）を基に分析することで、本来設計で考慮すべき数値（単位、上下限値、最頻値）を挙げることが出来る。
- ・設計書に数値的な設計漏れや不備の可能性のある箇所を発見することが出来る。
- ・数値項目一覧表中の情報を比較・検討することで、設計上の矛盾点を発見できる。

- ・要件定義の成果物である業務シナリオに基づいて数値項目一覧表を作成することで、上流工程でこれらの設計漏れ、不備、矛盾点などを検出できる。

■派生開発に XDDP を導入する際の障壁とその解消に向けたアプローチ

派生開発の現場が抱えている問題を解決するため、開発部門の関係者に対して XDDP を紹介した。紹介した際に好意的な意見もあったが、様々な障壁が原因で XDDP の導入が見送られた。そこで XDDP の導入の際に生じた障壁とその対策を紹介する。

◆心理障壁

- ・ XDDP がプロセス改善に適切なのか分からない
- ・「今までやったことがなから失敗しそう」、「失敗したら事態がより悪化しそう」と言った思い込み
- ・今までの慣れたやり方を変えたくない

◆心理障壁への対策

- ・具体的な成功例を挙げる
- ・教育プログラムやガイドライン等、実作業がイメージできる説明を行う
- ・改善の必要性を説明する

◆プロセス障壁

- ・組織の標準プロセスと XDDP との差異に対する拒否反応
- ・「標準プロセスとして定義されているプラクティスは全て記述通りに実施しなければならぬ」と言った誤ったプロセス遵守の考え方

◆プロセス障壁への対策

- ・ XDDP の特徴を活かせるように、現状の社内標準プロセスをテーラリングする
- ・標準プロセスにおいて XDDP と同様のプロセスを定義できること
- ・テーラリングしたプロセスについて、同組織における品質部門から使用の許可が得られること

◆組織障壁

- ・複数の会社や国・文化圏の人員で構成されたプロジェクトなど、プロセス改善のルール変更を受け入れにくい組織体制で発現する。

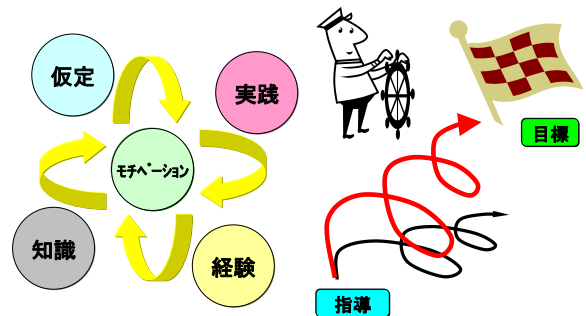
※今回の研究では対象外

◆結論

障壁を分析し適切な対策を実行することで、XDDP の導入を容易にすることが出来た。ただし障壁の種類は現場で異なるので、その分析とそれぞれの要因に合った対策が必要である。

■学習サイクル

学習サイクル



- ・知識がなければ正しい判断は出来ない
- ・経験が足りないと自分が見えてこない
- ・実践が足りなければ宝の持ち腐れ
- ・仮定が足りなければ行き当たりばったり
- ・モチベーションが足りなければ周りに引っ張られてしまう
- ・良い指導者や仲間は一生の宝物
- ・でっかい目標を達成するには、そこへと向かうコンパス(指導)が支えになる

■報告会を振り返って

経費削減が叫ばれる中、今後はより少ない予算でより効果の高い教育の実施が重要になってきます。その点ソフトウェア品質管理研究会は、現場で働く人達が現場で発生している問題に対し、研究メンバー全員で力を合わせて問題点の抽出と分析、解決方法の提案、実践及び効果の測定まで行っていきます。

また研究に必要な知識の習得と、会社事情の大きく異なる研究メンバーとの交流を通じてコミュニケーション技術を磨いて行きます。つまり研究会での活動そのものが非常に効果の高い教育になっていると言えます。

もしも教育の効果に疑問をお持ちなら、報告会を見学し、研究成果を読み、直接質問してみましょう。きっとその疑問は吹っ飛びます。

書いた人：おたべ

もうひとつの報告会「プレゼン奮闘記」

■第5分科会演習グループ活動報告

報告会ではプレゼン担当だった私に分科会の主査から届いたアドバイスが「プレゼンするのならこの本読むといーよー」。早速取り寄せてみたのが「プレゼンテーション zen」でした。

本を斜め読みして内容を一言で表すと、「右脳を刺激する発表内容にしよう」ということらしい。つまり主査は**プレゼンならぬ「プレゼン」**してこいと言うことですね？ OK、それが主査の期待なら110%で応えて見せるのがWACATE魂と言うもの。しかも都合の良いことに発表資料は印刷物にならないので、私の写真コレクションから著作権や肖像権が微妙な写真も使える、面白いプレゼンが出来そうだとその時点ではお気楽なモノでした。

◆発表コンセプト

伝えたいことは学習の大切さとテスト技法の存在。特にテスト技法については興味の無い人ほど知って欲しかった。そこで思いついたのが「**体で覚えるテスト技法**」。考えるな、感じろ。有無を言わさないインパクトでテスト技法を印象づけることにしました。

◆体で覚えるテスト技法

例えば、同値分割なら沢山出てきた料理を一口ずつ食べるようなものかな？
なんか目の前でリアルにミカンが腐っているけど、食べられる部分もありそうだ、これって境界値分析じゃない？
こんな調子でテスト技法に合った写真を選択していきました。



◆発表当日

結局徹夜で資料を作りハイテンションのまま報告会に参加するが、ここで大きな間違いに気付く。

「あれ〜、何だか全員スーツ着てない？ 有名企業の上司も見学に来てるみたいだ、ヤバイ、この報告会ってすっごいまじめな報告会だったんだ。オレはこれからこの人達相手に**プレゼンで笑いを取らなければいけないのか！**」←今更気付いて血の気が引く

「調子に乗って電気あんまされている(ように見える)大道芸人やお気に入りの猫写真入れちゃったよ、どうしようおおおお。」

◆報告終了 ~プレゼンの本領発揮!~

結果としてプレゼンは大成功でした！ 感想を聞いてみると。

- ・写真からどう発表するか想像がつかないから本人の話に集中してしまう
- ・話を聞くと「なるほど〜」と納得してしまう
- ・なんだか知らないけど頭に残った
- ・「**食べて覚える HAYST 法**」は是非うちでも試してみたい
- ・**こんなプレゼン初めて見た (by 主査)**
↑ちょっと待て、初めて？ もしかして見たこともやったこともないけど「面白そうだから」プレゼン 薦めたのかあああ！

驚愕の真実を知ってしまいました。でもこんな感じに本人を調子に乗らせて成果を引き出す主査は、一つの理想かもしれません。



◆プレゼンを終えての感想

- ・プレゼンの話で多くの人と盛り上がった
- ・もっとトークで笑いを取れるようになりたい
- ・とにかくテスト技法を印象づけられた
- ・笑って貰えた
- ・HAYST 法サウンドイッチやってみてみたい方が現れた！ あのときのデスソースは無駄じゃなかったんだ
- ・資料作成時、内容が個性的過ぎて作業の分担が難しい。
- ・自分が説明したい事柄に合った写真を検索可能なデータベースが必要
- ・発表資料はあくまで発表時のサポート資料なので、別途詳細資料が必要になる
- ・高いプレゼンスキルが必要
- ・客を引き込むのにアイスブレイクは必須

書いた人：おたべ

CEGTest勉強会を経て

こんにちは～、上田です♪

2月9日(火)に行われたCEGTestの勉強会に参加してきましたっ!!

※ちなみに上田は原因結果グラフについては「ソフトウェアテストの技法」で勉強をしていたのですが「この理解できているのか?」にぶち当たってしまい、途中で挫折してしまいました。。

■CEGTestを知ったきっかけ

JaSST' 10 Tokyo で加瀬さんが登壇された「CEGTest」のセッションを聴講しました。

そのとき CEGTest を知りました。さっそく自宅に帰って CEGTest の URL にアクセスして動かしてみました。

直感で動かせるインターフェース、快適な動作にビックリしていろいろ原因結果グラフを書いていきましたっ!!

・・・ただ、やっぱり CEGTest を使っても「この理解できているのか?」にぶち当たってしまいました。。

■勉強会のお誘い

JaSST' 10 Tokyo の数日後、TEF のメーリングリストに加瀬さんから「CEGTest の勉強会」を開催するとのメールがっ!!

これは、参加するしかないと思って、その日のうちに参加申込みをしました。

当日、一時間ばかり遅れて参加することになってしまい、私が会場に入ったころには演習問題を行っているところでした。(んー、非常に残念です。。)

■演習問題を解く

さて、さっそく演習問題です。

「ニート」に関する原因結果グラフを作成する問題と「遊園地の入場料」に関しての原因結果グラフを作成する問題の2つです。

さて、まずはマインドマップを使って状況を分類したりしていく作業をしました。

その後、CEGTest を使って原因結果グラフを作成していこうとしたのですが、やはり「これでいいのかが解らない」状態です。

そこで、作れるところまで作ってみて、みなさんの発表を聴こうと思いました。

■発表を聴く

はっきりしたことは、発表された方の原因結果グラフや秋山さん、加瀬さんが作成された原因結果グラフと自分の作った原因結果グラフはぜんぜん違うものでした。

たぶん、情報が整理されているかいないかの違いが一番の原因だと思います。

発表を聴いていて「なるほどっ!!」「なるほどっ!!」を心の声で連発していました。

個人的に原因結果グラフに感じたことは

- ・情報の整理が出来る
- ・抜けを見つけることが出来る(隠れた仕様を明確に出来る)

「情報の整理が出来る」については、ノードの並べ方などをすることで非常に情報を分類しやすいと思いました。(ノードにタグ付けしたり出来たりしたら思考の手助けになるかもと思いました)

「抜けを見つけることが出来る(隠れた仕様を明確に出来る)」については、「遊園地の入園料」の演習問題のところで、以下の仕様がありました。

- ・17時以降は値段が安くなる
- ・65歳以上は無料になる

仕様として提示されているものは、時間、年齢、地域による入園料の種別だけでしたが、隠れた仕様として「いくつもの入園料にあてはまる場合、値段が安い方が適用される」という仕様は明確に提示されていませんでした。演習問題の発表でこの解説を聴いたとき、思考するためのツールだと感じました。

■初めての原因結果グラフ

冒頭に書きましたが、原因結果グラフについては「ソフトウェアテストの技法」を用いて以前に勉強をしたことがあるのですが、途中で諦めてしまった経験があります。諦めた理由としては自分のまわりに原因結果グラフを知っている人がいないため、

- ・作ったグラフが正しいかどうかの確認が出来ない
- ・そもそも線や記号を正しく理解して使えているかの確認が出来ない

原因結果グラフに限らず、例えば同値分割や境界値分析などでも、「このフェーズではこの技法によるテストが有効かどうか」を判断するまえに「そもそも技法の使い方や解釈は正しいのか?」の判断ができないことが多々ありました。

勉強会に参加する最大の利点は、「いろいろな方の意見を聞くことが出来る」と考えています。

CEGTest の勉強会に参加することで、原因結果グラフを習得する手がかりを得て非常に嬉しかったですっ!!!

加瀬さんの作った CEGTest の URL はこちらですっ!!
<http://softest.cocolog-nifty.com/labo/CEGTest/>

書いた人：うえだ

読書戦士! 読書会コミュ [yomite.swtest]

～みんながソフトウェアテストの本を読む会～

なみき

■ とある日記から始まった

WACATE 2009 夏が終わって少ししたら、とある人の WACATE SNS の日記に以下のようなことが書かれました。

「テスト本で読書会できたらいいなあ、なんて思うことがあります。」

私も同じように思っていました。なんか巷では、勉強会ブームが来ているとか、勉強会のための勉強会みたいなこともあったりしていてスポット的な集まりがあってもいいのでは?なんてちょうど考えていたころでした。



■ yomite.swtest とは

WACATE SNS 内のコミュニティ 読書会コミュ [yomite.swtest] の参加者がソフトウェアテストに関連する本を読書する会です。第一弾として「基本から学ぶテストプロセス管理」(著者は Rex Black さん)を対象としました。第1弾は以下のように実施されました。

- ・ 全4回(各回 3章～4章ぐらい)
- ・ 夜2時間程度
- ・ 公共施設の会議室を借りる
- ・ 開催日は参加人数が多い日
- ・ メンバーは WACATE 参加者

■ 参加者として

読書会は、川崎駅周辺で行われました。私の本社は川崎駅周辺なのですが、プロジェクトの関係で都内だったり、川崎市内でも端の方にいたりして移動時間はかかっていました。

でも移動時間を逆算+読書会の時間を考え、その週は読書会参加に向けて作業を調整しつつ、「18:30に帰るぞ」宣言をしつつ効率的に仕事を行っていました。

その回の章については、毎回読んで参加していましたが他の方々は前回分を読み直したり、次回分を先読みしたり、読むだけではなく内容のまとめや、意見を聞くための準備をしっかりとやってきているかたもいらっしゃいます。この辺りは今後自分も見習いたいところですね。

■ モデレータとは

yomite.swtest では、1回分の章で3人程度モデレータを決めて読書会を進めています。yomite.swtest ではモデレータはこの方法でやるというルールがありませんので自分なりに進めていくことになります。(注:自分のペースで行う、工夫する余地が多数あることになるので苦痛ではありませんね。)私のやり方は以下のような感じです。

- ・ 当日用の資料を作る。
 - 読書会用の資料の見た目に時間はかけないようにしています。
 - 読んで気に入った箇所、引っかけた箇所を中心にピックアップ。
- ・ 資料を使って説明
 - 自分のPCを持ち歩けないときは、紙に印刷して紙芝居みたいに説明したりしました。(参加者の方には少々見えにくかったかも。でも温かく受け入れてくれました。)
- ・ 自分の場合はこうだけど
 - 他の人はどうなのかを知りたいという気持ちがあります。差し支えない一般的な内容レベルでも自分には有用な他人の考えに触れることができます。

結局参加者は、ソフトウェアテストに興味を持っている方々ばかりなので、参考になる情報を教えてくれたりまとめたりしてくれるうちに、予定時間が過ぎてしまいます。

■ 最後に

yomite.swtest の”心地よい”読書会は、私にとっては WACATE 夏、冬までの気持ちを維持する一つになります。話を他の方々とする事で得ること、気がつくことが多いです。読書会に自分から参加することのメリットでしょう。会場の準備や、調整してくれる近江さん、川西さん、参加者の皆さんに感謝です。

- yomite.swtest とは -
ソフトウェアテストに関連する本を読む読書会です。主に公共施設を借りて2時間程度の読書会を開いています。

ワカテにきく

第15回：【ワカテに効く？】中嶋 信(東京エレクトロン ソフトウェア・テクノロジーズ(株))



テスト界の大泉洋こと、上田さんから紹介いただきました中嶋 信です。中軸でも中岬でも中袖でもありません。まして、中山 由信でもございません。中嶋 信(ナカクキ マコト)です。皆さんは**聖域(サンクチュアリ)**をおありでしょうか？僕はあります。それは**温泉**！！そこは、老若男女、心も体も開放できる場所。と、そんな聖域

で思ったしょうもないこと書かせていただきます。

温泉に浸かりながら、次のプロジェクトでの**テスト計画**をぼんやり考えてました。**テスト内容、テスト目的、テストレベル、テストタイプ、...**

ふと、思ったこと。そのとき浸かっていたのが「**単純温泉**」この単純温泉は、万能だけど、これだと言うのがないなあ。例えるならば**アドホックテスト**。んじゃ、**性能テスト**に当たりそうなのは？**筋肉痛に効く**と言われている「**二酸化炭素泉**」や「**炭酸水素塩泉**」？

ふむふむ。**テストレベル**でも考えてみよう。テストレベルに当てはまりそうなのは、**温泉施設**か？**泉質**が一つの施設を**コンポーネントテスト**と考えると複数の泉質の施設は**結合テスト**？**システムテスト**には何だろう？**ユーザ**の要件を満たすのは…**露天**ありの施設だな、きっと。

おお～、なんだか意外とはまりそう。もしかして、**テスト計画書**っぽく、**温泉計画書**って書けるかも。

■自分がテスト計画時に考える要項

- ✿ テスト内容
- ✿ テスト目的
- ✿ テストレベル
- ✿ テストタイプ

- ✿ テストベース
- ✿ テスト技法
- ✿ テスト環境
- ✿ テスト開始基準
- ✿ テスト中止基準 (←考えるけど実際に中止したためしがない)
- ✿ テスト完了基準
- ✿ テスト対象
- ✿ テストリスク

言葉を変換すると

- 📖 温泉内容 : 温泉に入る目的
- 📖 温泉目的 : 温泉施設
- 📖 温泉レベル : 泉質
- 📖 温泉タイプ : 温泉に必要な道具？
- 📖 温泉ベース : 全身浴、足湯、などなど
- 📖 入浴技法 : ロケーションかな？
- 📖 入浴環境
- 📖 入浴開始基準
- 📖 入浴中止基準
- 📖 入浴完了基準
- 📖 入浴対象
- 📖 入浴リスク

これをもとに**温泉計画書**を書いてみた(下図参照)。で、これが結局何になるかという意味はありません！！が、一言だけ、

皆さんも計画的に温泉にもテストにもざっぷり浸かりましょう！！

戯言にお付き合いしていただき、ありがとうございました。

| テスト計画書 | | 温泉計画書 | |
|---------|---|--|--------|
| テスト内容 | ① 要求仕様の分析 ② テストチャーターの作成 ③ チャーターを基に結合テスト仕様書を作成 ④ 開始基準、中止基準を遵守し、完了基準を満たすまでテストを実行 | ① うわさを元に地図で温泉の位置を分析する ② 手ぬぐい、ビールなどの準備 ③ 脱衣 ④ 心が癒されるまで入浴 | 温泉内容 |
| テスト目的 | 要求された機能仕様、及び、性能指標に基づいた性能が実現されているかを確認する | ● 普段の激戦の疲れとストレスを発散させる ● 加齢臭が気になるお年頃のため、お肌に良い温泉 | 温泉目的 |
| テスト担当 | MAQ | MAQ | 温泉担当 |
| テストレベル | 結合テスト | 野湯 | 温泉レベル |
| テストタイプ | ● 機能テスト ● 性能テスト | ● 硫黄泉 | 温泉タイプ |
| テストベース | 要求仕様書、結合テスト仕様書 | 手ぬぐい、ビール、地図、うわさ | 温泉ベース |
| テスト技法 | ブラックボックス | 全身浴、泥パック | 温泉技法 |
| テスト環境 | α版 | 山奥 | 温泉環境 |
| テスト開始基準 | リリースされた案件単位で、開発者側でのテストでNGがない。 | ● 体が洗ってあること ● 健康体であること ● 水分を十分補給していること | 入浴開始基準 |
| テスト中止基準 | ● テストの結果がNG、その中でも重大な欠陥が含まれている場合 ● 総テストケース数の1割がNGとなった場合 | ● のぼせたら | 入浴中止基準 |
| テスト完了基準 | すべてのテストケースを実行し、NGが一つもないこと | 満足するまで | 入浴完了基準 |
| テスト対象 | そろばんアプリ | くたびれた品証さん | 入浴対象 |
| テストリスク | テスト中止基準を満たした場合、リリース時期の調整が必要となる。 | しばらくの間、硫黄臭をまとうことになる | 入浴リスク |

Software Test Topics

当番：上田 卓由 (Magazine 編集部)

こんにちは、上田です〜♪

暖かい日が続いたと思ったら、きゅーに寒くなったりでちょっと風邪ひいたりしちゃってます。。

みなさまも体調にはお気をつけくださいな。

さてさて、それではお役立ち情報をお届けします〜

【資格】第4回初級ソフトウェア品質技術者資格試験

日程：2010年5月29日(土)14時~15時(実施時間)

開催地域：東京、大阪、愛知、広島

試験料：10,500円(税込み)

受験申込み：下記サイトからお申込みください

<http://www.juse.or.jp/software/35/?id100222>

主催：財団法人 日本科学技術連盟

初級ソフトウェア品質技術者資格試験の申込みが始まっています。会場は東京、大阪、愛知、広島の4箇所です。

申し込み期間は4月23日(金)の17時までとなっています。締切までにはまだまだ1ヶ月以上ありますので、受験を検討する時間がありますね。

【シラバス】初級ソフトウェア品質技術者資格試験

(version 1.1)

形態：PDF

価格：無料

初級ソフトウェアテスト品質技術者試験シラバスのversion1.1です。

「第4回初級ソフトウェアテスト品質技術者資格試験」は本シラバスから出題されるとのことです。

【シラバス】中級ソフトウェア品質技術者資格試験

(version 1.0)

形態：PDF

価格：無料

ソフトウェア品質技術者資格試験の中級のシラバスが公開されています。

中級の試験は半年後の2010年10月を予定しているとのことなので、じっくり勉強できますね！！

やっぱり、中級を受けるには、初級を取得している必要があるのかな？

あとあと、JSTQBのアドバンス試験もいつなんでしょうね、気になりますっ(ちょっと話がそれちゃいました。。)

【イベント】Web 負荷テスト免許皆伝

テスト概論入門編〜

主催：日本オラクル株式会社

開催日：2010年3月2日(火)13時30分~14時30分

会場：インターネット・セミナー(オンライン)

定員：先着600名(定員になり次第締め切り)

参加費：無料

お申込み方法：Webサイトへの登録が必要

本セミナーを対象としている方は「アプリケーションの品質管理に興味がある方」「効率的なテスト手法について興味のある方」とのことです。

さてさて会場が「インターネット・セミナー」となっています。

いったいどこでしょ？

Webページを見ていると、インターネットに接続して受講するようですよ！！

(セミナー開始時間の15分前(13時15分)から接続可能)

上田はこういった形態のセミナーを受けたことがないので、どんな感じなんだろうって興味ありますっ！！！！

【イベント】マインドマップ基礎講座

日時：2010年3月15日(月)10時30分~17時30分(10時間開場)

開催場所：LMJ 東京研修センター4F 中会議室(東京都文京区本郷1-11-14)(東京、水道橋)

定員数：16名

参加費：36,750円(税込み)

ソフトウェアの「テスト」や「品質」に直接関係はしていませんが、マインドマップについてのセミナーのご紹介です。

私のことになってしまいますが、「テストケースを設計する」以外の通常の会議などでも、必ず書いているものがマインドマップですよ！！

そんなマインドマップのセミナー。どんなセミナーなんでしょーか、気になりますねっ！！

ちなみに、このセミナーですが、月に2~3回開催されているようです。

(開催日として記載している日付は直近のものです)

このコーナーでは、書籍やイベントの情報を募集しています。

例えば、「来月勉強会とか OFF 会とか開催するんだけど掲載してくんない？」といったものでもOKです。

開催地も、日本全国津々浦々、どこでもかまいません。

情報をお待ちしております m(_ _)m

WACATE ShortShort Vol.11

ロイヤル・アジャイルインスペクションワークショップ



ある日の夕方、ポストを覗くとそこにはロイヤルウイングの乗船券が届いてました。じゃあロイヤルとアジャイルを組み合わせてやってみるか、ロイヤル・アジャイルインスペクション！ ということでWACATE ShortShort Vol.11 は、豪華客船で東京湾をクルーズしながら永田さんによるアジャイルインスペクションワークショップをやっちゃいます。

◆目的◆

お船の上でのんびりとアジャイルインスペクションを体験する

◆種別◆

勉強会

◆日時◆

2010年3月21日(日)、集合時間14時

◆場所◆

横浜港大さん橋国際客船ターミナル・出入国ロビー

<http://www.royalwing.co.jp/>

◆参加予定人数◆

10名

◆参加費◆

5000円を予定

(乗船料、地上でのワークショップ費用、打ち上げ代)

◆お世話役◆

永田 敦

小田部 健

◆アドバイザー◆

坂 静香 (WACATE 実行委員会)

原 佑貴子 (WACATE 実行委員会)

◆開催概要◆

ロイヤルウイングというお船にのって、アジャイルインスペクションワークショップを船上で行うという豪華なイベントです。海を眺めながらのワークショップで、リラックスした雰囲気で行います。さらに船から下りた後もワークショップは続き、そして打ち上げへ、

申し込み方法、および詳細につきましては、[こちら](#)

池田暁の

ミュージカルに恋して。

【第十五幕】—観劇のために心に余裕を—

♪今月は観劇ゼロ！

なんと今月は観劇しませんでした！ 例年この月はミュージカルの大作の上演が少ない（帝国劇場がジャニーズに抑えられている影響）のですが、それにしてもここまで劇場に足を運ばなかったのも久しぶりです。本当に自分でも驚きなのです。

♪心のリセット月間

ではその二月の一月間は何にをしていたかというところ、「感受性のリセット」です。

毎年年末は12月のWACATE、明けた1月のJaSSTと、バタバタしています。また昨年11月末に入院してから、まだまだ体調が戻りきっていないこともあり、なんといいますが、こころの余裕がない数か月を過ごしていました。ですから、当然のことながら芸術などの分野へのアンテナの感度は鈍ってきますし、何か情報を受け取ったとしてもそれに目を向けたり咀嚼したりする余裕がないわけです。これは自分でもわかっており、まずいなあと思う日々でした。

♪荷物を降ろそう

そんなわけで、2月はいろいろな負荷を下げる努力をして、もっと身の回りに目を向けられる余裕をもつための月とすることとしました。タイミングとして、医者から「いいかげんすっかりきっかり休みなさい」とやんわり怒られたってのもありました。

で、まず何をやったかということ「できるだけ新しい仕事を受けない。受けるとしても高負荷のものは避ける。」というポリシーを立てたことです。そして「素直に周りに頼る。」ということもポリシーとしました。私はなんでも一人で背負い込んで一人で対応するっていう性分があるのですが、それを頑張って我慢ということですね。我慢するってことは、それ自体が負荷になってしまうのですが、トータルとして考えた時には余裕が出る方向にいくはずですよ。

♪非日常を味わう

心をリセットするためには、以前このコーナーで書いた「劇場では非日常を体験」を実行すればよいのですが、先に書いたように現在大作は上演されていませんので、足を運ぶ機会はないでしょう。といったわけで、ずいぶん帰っていなかった地元へ帰省することとしました。なぜ地元なのかは、ごく個人的な様々な感情の変化が伴っていたのですが、そういった面からもリセットしたかったというのがあります。このときPCは持って帰らず、また意識して携帯電話を触ることもありませんでした。

長崎ではランタンフェスティバルを楽しみ、ちゃんぽん・皿うどん・卓上料理に舌鼓を打ち、雲仙国立公園にて地獄と温泉、そして霧氷を楽しんできたのでした。劇場ではないですが、非日常を存分に楽しんだ三泊四日になりました。

♪観劇を楽しむために心の余裕を持つ

そうして存分に非日常を味わって帰って来たのですが、少し変化があったように思います。観劇関係で考えると、その関係の本や雑誌、記事を楽しんで、興味を持って読めるようになったような気がしています。一時期、チケットを取るのもちょっと億劫だったのですが、今はスケジュールをあれこれ考えるのが楽しいです。やはり心の余裕というのが影響しているのだと思います。

そうすると、観劇そのものの心の余裕があったほうがいいのだろうなあと思います。きっと歌や演技の心への響き方も大きく変わるのではないかと思います。この変化は来月に味わえるかと思しますので、また書いてみようかなと思います。

皆さんも心の余裕、見直してみませんか？ (^-^)

♪今月の一枚

ランタンフェスティバルの会場から一枚。携帯電話のカメラなので伝えきれませんが、とてもきれいでしたよ



<町中がこんなランタンでいっぱいになります>

♪終わりに

来月は「それぞれのコンサート」、「Frank & Friends」のチケットを手配済みです。そして人生初の体験となるディナーショー「井上芳雄ディナーショー」に行ってきます。2月行かなかった分楽しむつもりです！<終>



補給戦線異状なし!

本コーナーはテスト業界という
知的戦場で戦うテストエンジニアたちの
糖質補給等を暑苦しく支える
漢(おとこ)たちの物語である!

Mission-4 : 五感を感じろ! 目覚めよシックスセンス!

人物紹介

新兵: 元気ハツラツ×やる気ムンムンの新人。
先輩は神だと思っているちょっぴり残念な子。たぶん 19 歳。

軍曹: 上には弱く下には滅法強いタイプのおっちゃん。
33 歳窓際体育会系。精神年齢は 14 歳。

■しれーと復活。

新兵: ぐんそおおおおおおつ!!!
 軍曹: ……なんだ騒々しい。
 新兵: だあってだあって…6 号振りに復活ですよほおおうう
 ううほうっほ。
 軍曹: そんぐらい知っとるわ。
 新兵: ほ、ほかぁ…ほかぁ…ぶ、ぶれびぐで…
 ぶれびぐどうえええ…(嬉しくて嬉しくて)
 軍曹: ……わかった。わかったから、もちつけ。
 新兵: これが落ち着いていられますかぁ!!
 (バシン!バシン!)
 軍曹: イテテテ。
 新兵: 軍曹と…こおやってじゃれあうことが久しぶりにできて
 ほかぁ…ほかぁ幸せですっ!(抱きっ)
 軍曹: **気色悪いッッッ!!!** (ドグジャァッ)
 新兵: ぐあぁあッ!(聖〇土星矢バりに脳天から落下。)
 軍曹: ……やれやれだせ。
 新兵: あ、あれ? 僕、どうしたんでしょうか。
 軍曹: 気にするな。大丈夫だ。
 新兵: そうですね! (キラーン⁺)
 軍曹: 相変わらず単純だな…。ときに貴様、人間で最も
 原始的な感覚は何か知っているか?
 新兵: え? なんです? やぶからスティックに。
 軍曹: うむ。食事とは五感で味わうものなのだ。
 新兵: はぁ…。(←よくわかってない)
 軍曹: うむ。よくわからん、という顔だな。
 新兵: はい! (キラーン⁺)
 軍曹: うむ。例えば「**アーモンドチョコレート**」があるな?
 新兵: はい!
 軍曹: あれを齧(かじ)ると、どうなる?
 新兵: え? ……カリッとします。
 軍曹: うむ。食感が良いな。これが「**触覚**」にあたる。
 新兵: はぁ…。
 軍曹: では「**果実が沢山乗ったタルト**」を見るとどう思う?
 新兵: すごく美味しそうに見えます!
 軍曹: うむ。ビジュアルが良いな。これが「**視覚**」にあたる。
 新兵: ふむふむ…。
 軍曹: では「**バター**の**香ばしい香り**」がしたらどうだ?
 新兵: あ! 香ばしい香りで美味しそうですよー!
 軍曹: うむ。これが「**嗅覚**」…最も原始的な五感だ。
 新兵: ときどき外歩いてると、バターの良い香りとかします
 よねー! ……って正に今! すごく良い香りがか!
 軍曹: うむ。あの嗅覚を刺激するバターの香り…

「**ピアードパパのシュークリーム工房**」と見て
間違いないな。

新兵: え? なんすか? ピア…シュークリーム?
ビール味ッスか?

軍曹: **くおのアホンだらあぁあッ!!!**

新兵: ぐはぁっ…(キラリと光る涙)

軍曹: 「ピアードパパ」だ! このバカモン!

新兵: しゅ、しゅびばせんッ(すみません)

軍曹: うむ。大人から子供まで楽しめる
サクサクの「**パイシュー**」なのだ。

新兵: おおお! それは美味しそうですね!

軍曹: うむ。しかも甘さも控えめで香り高く…

嗅覚・触覚・味覚・視覚・そしてサクッという音で
聴覚までも刺激してくれる素晴らしい逸品だ!

新兵: うわあぁあ! **五感全部じゃないですかあぁあッ!**
…あ、でも僕お金が…

軍曹: 心配いらん! お 1 つなんと 150 円とお買い得!

新兵: **買ってきます!!!** (ダッシュ!!!)

軍曹: 早ッ!?

新兵: …**美味いッス!!** サクサク! ムシャムシャ!

軍曹: **はやーッ!!!** (ガビーン)

新兵: あぁ…しあわせ…あ。そうか。

軍曹: ん?

新兵: 「**嗅覚**」って原始的なんですよね。

軍曹: うむ。ようやく理解したか。

新兵: だからアレなんですな。

伍長ちゃんはいい匂いがするんですね!

軍曹: **ゆ、ゆるさあぁあぁあん!!!**

新兵: ぶべらっ…(キラリと光る涙)

■今月のウエボン。「ピアードパパのシューシュー」

[ピアードパパのシューシュー工房のシューシュー](#)です。

イチ押しシュークリーム。を是非試してみてください!



今月のSTAR★

実は2月はスター★にお会いすることができず、その神々しい御姿を崇めることができませんでした。

しかし我々Magazine編集部はそんなことでへこたれませんっ!!!

ところで皆さん、twitterなるものをご存知でしょうか。まあこの業界にいてご存知ない方はあまりいらっしゃらないと思うのですが、最近業界ではtwitterのアカウントでなんとか度判定メーカーが地味に流行っているのですよ、奥さん。

<http://kistools.appspot.com/r/テストエンジニア/>

そこでまあ、ワタクシがリアルなtwitterアカウントでチャレンジしたところ、こんな結果でした。

テストエンジニア度判定

koyaman2さんのテストエンジニア度は**6.8%**です。

[Twitterでテストエンジニア度を報告](#)

占うことを自由に決めれるなにか占い始めました
>なにか占いを選択してみる

あなたのテストエンジニア度も判定してあげますね。

名前:

他のなにか度を判定することもできます
新しく判定するものを決める

6.8%... orz

僕はテストエンジニアには向いていないようです。

そこで、ふと我らがスター★はどうなのか、と検索してみることに。

テストエンジニア度判定

スターさんのテストエンジニア度は**51.0%**です。

[Twitterでテストエンジニア度を報告](#)

占うことを自由に決めれるなにか占い始めました
>なにか占いを選択してみる

あなたのテストエンジニア度も判定してあげますね。

名前:

他のなにか度を判定することもできます
新しく判定するものを決める

おおっと。いきなり約9倍ですよ。9コヤマンくらいの戦闘力です。

でも我らがスター★がそんな低いワケがない!と思ったので、もう少し調べてみることに。

テストエンジニア度判定

☆さんのテストエンジニア度は**42.4%**です。

[Twitterでテストエンジニア度を報告](#)

占うことを自由に決めれるなにか占い始めました
>なにか占いを選択してみる

あなたのテストエンジニア度も判定してあげますね。

名前:

他のなにか度を判定することもできます
新しく判定するものを決める

...うーん。記号よりもスターの方が良いらしい。

テストエンジニア度判定

やまさきさんのテストエンジニア度は**48.9%**です。

[Twitterでテストエンジニア度を報告](#)

占うことを自由に決めれるなにか占い始めました
>なにか占いを選択してみる

あなたのテストエンジニア度も判定してあげますね。

名前:

他のなにか度を判定することもできます
新しく判定するものを決める

...うーん。苗字だけよりもスターの方が良いらしい。

んじゃ、組み合わせてみるか。

テストエンジニア度判定

スター☆やまさきさんのテストエンジニア度は**99.1%**です。

[Twitterでテストエンジニア度を報告](#)

占うことを自由に決めれるなにか占い始めました
>なにか占いを選択してみる

あなたのテストエンジニア度も判定してあげますね。

名前:

他のなにか度を判定することもできます
新しく判定するものを決める

EEEEEEEE (´Д`) EEEEEEEEE

名前だけでなんとか度判定すらも支配するとは...
んじゃコッチはどうか。

テストエンジニア度判定

ラブやまさきさんのテストエンジニア度は**95.7%**です。

[Twitterでテストエンジニア度を報告](#)

占うことを自由に決めれるなにか占い始めました
>なにか占いを選択してみる

あなたのテストエンジニア度も判定してあげますね。

名前:

他のなにか度を判定することもできます
新しく判定するものを決める

Σ(□||)ノノなんですとおおおおおお!?

いや、素でビビりました。やっぱりスター★は違うぜ。

書いた人: コヤマン

WACATE-Blog出張所

◆ おっさんがやってきた

WACATEのワークショップで、~~ベテラン~~おじさん軍団のすぎたです。体力は、寄る年波ですが、いつもみなさんの若さをみて励んでいます。

もともとは、通信系の装置のソフトウェア開発エンジニアでした。(まあ、昔は設計から試験から一通り出来て一人前だねって言われた時代)

◆ どんなことしてたん?

昔話ですが、すこしお付き合いよろしくお願ひします。そのころは、COBOLやFortranや個別の開発言語が主流だったのですが、丁度運良く、C言語を初めから扱うことになりました。配属されて行った先で渡されたのは、本はたった一冊、「The C Programming Language (いわゆる「K&R」)」

- ・ マシンはVAXね
- ・ TSS 端末これ
- ・ UNIXのコマンド表はこれね

優しい先輩にっこりとわたしてくれました。

◆ なにつくってたん?

初めに関わったシステムは、パケット通信用でした。プロセッサは、8086 (インテル) このプロセッサは16bitなので64Kbyteのメモリ空間しか扱えないのですが、特殊な方法、segmentとoffsetという方法を使って(気になる人はぐぐってね)、メモリ空間を1Mbyteにして動かしていた。

当時は、メモリは大変高価なものなので、1Mbyteという空間が少ないようでも実はコスト的には厳しい。従ってコンパクトに無駄のないソフトウェア構造やデータ構造を考えることも設計するうえで重要な技術だった。

信じられないだろうが、メモリ空間争奪会議なるものもあった。いかに自分の開発機能に必要なメモリ空間を見積もり申告するのです。この見積もりは間違えると少なくとも多くてもリーダーに殺される。(無駄な空間は許されない、不足すると入らない)

ここで培われたのは、無駄のないソフトウェアを設計することと、設計から生成するコード規模を推測する技術。

設計後に作成したソフトウェアは、マシンでコンパイルをかけるのだが場合によっては、全部コードのコンパイルが完了するまでに数時間かかることがよくあった。

今みたいにひよひよひ簡単に直す事が出来ない。従って、ソースコードレビューが一番安価でした。

さらに、このソフトウェアは、ROM (Read Only Memory) に、書き込んで実際のパッケージに自分で装着してICE (In-circuit emulator) で、マシン語やアセンブラを駆使してデバッグしていた。

そうそう、ROMに書き込んで簡単に書きましたが、LMをROMに入れるために分割して、一つ一つのマスターROM作ると半日。そして、当然複数のROMが必要なので機械を使ってCOPYを作るわけだが、一回のコピーで16個出来る、それでもCOPY時間に数十分かかるので、軽く一晩が消える訳だ。

こうなると、バグなんて出した日は自爆行為だ!

しかし、一年目の終わり数週間前にして致命的なバグを出してしまった、周りの人にあやまりながら、数千個のROMを初期化して焼き直したのは、今でも忘れられない。

◆ 仕事で好きな言葉

先輩たちは、「バグは憎んでも、人は憎まず」といって手伝ってくれました。

全てのパッケージのROM交換を、日曜日一日かけて実施しました。

どうして品質を上げることが必要と思っているのかは、初めから品質を作り込むこと、欠陥を入れ込まないこと、確実に欠陥を取り除くことを常に意識していることが、自分の幸せに直結しているんだなあ。そしてその先で、使う人の幸せを忘れないように♪

◆ はじめでいまはじめ

自分のソフトウェアに対するすり込みはここからです。このあとも、さまざまな方に教えていただいたりしています。しかしながら、今でも勉強足りないなあと思っています。

だから、多くのみなさんとの繋がりはとっても「貴重な経験」と「時間と経験の共有」が出来るので大変感謝しています。

◆ さいごに

まあ、おじさんの昔話はこんなところで終わりにしましょう。

実は、今回からWACATE Magazine編集部になりましたf(^-^;))

どうぞ、これからもよろしくお願いします。

書いた人：すぎた

開運

源太郎のソフトウェアテスト占い

※「ソフトウェアテスト占い」とは…

日本の伝統的な暦で知られる気学(九気性)をもとに、日本古来の統計学とソフトウェアテストで培った時代の統計学を組み合わせ考察された占いである! (笑)

| | 生まれ年 | 3月の運勢 |
|------|-----------------|---|
| 一白水星 | S38/S47/S56/H2 | 運気は中宮星と相性となり上昇の可能性は高い。慎重に日時を選びそれぞれの実行に移るのが良策。ただし北西の乾の方角の事業は注意が必要。 |
| 二黒土星 | S37/S46/S55/H1 | 運気は非常に旺盛なり。余計な愚痴よりもひたすら作業に専念する時なり。暴挙は禁物なれど、多少の無理も心を鬼にして通すことも必要な時はある。 |
| 三碧木星 | S36/S45/S54/S63 | 運気は内実も非常に好調で思いのままとも言えそう。焦らず着実に進めば成果は目前。ただ好機を逃さぬよう万全の対策が必要。しかし濡れ手に粟は禁物。 |
| 四緑木星 | S35/S44/S53/S62 | 運気はすこぶる旺盛となり万事を進めるのも好機。ただ中途で多少の遅延が起るが焦らず他人に責任を被せず自身の事として行動するのが良策。 |
| 五黄土星 | S34/S43/S52/S61 | 運気は前半にやや暗雲低迷状態ともなるが後半は晴れ前途も輝く。焦らず好機を待ち、望みに行動をすれば成果は良好。移り気を起こせば効果は大きく減る。 |
| 六白金星 | S33/S42/S51/S60 | 運気はやや低迷気味となる。しかし、さほど気にする事無く平常心で物事に対処するほうが先は明るい。ただ、大事な事はもう少し時期を待つのが賢明。 |
| 七赤金星 | S32/S41/S50/S59 | 運気は今月も上昇し順調いきそう。身辺でも喜びごとが期待できる。分外の野望は捨て手堅く一歩一歩進む事が今は肝要。北方はやや危険要注意。 |
| 八白土星 | S31/S40/S49/S58 | 運気は未だ本格的には回復していないが、慎重そして大胆に進めば目的に近づく。但し他人の意見にも貴重な事柄もある。総て無視するのは大損を招くので注意。 |
| 九紫火星 | S30/S39/S48/S57 | 運気は一転して暗雲の間に覆われてきた。作業は一時停止し、好機を待つのが順当な方策。無理を通すと損害が広まる。軽率妄動は慎まねばならぬ。 |

| 月盤 一白水星 | | | | 年盤 八白土星 | | | |
|---------|--|--|--|---------|--|--|--|
| 南 | | | | 南 | | | |
| 東 | | | | 暗剣殺 | | | |
| 西 | | | | 東 | | | |
| 北 | | | | 五黄殺 | | | |
| 北 | | | | 北 | | | |

| | | |
|---|---|---|
| 9 | 5 | 7 |
| 8 | 1 | 3 |
| 4 | 6 | 2 |

| | | |
|---|---|---|
| 7 | 3 | 5 |
| 6 | 8 | 1 |
| 2 | 4 | 9 |

Workshop for Accelerating Capabilities

お知らせ

3月31日(水)にWACATE-Magazine vol.16 発行します!(たぶん)

次号の特集は「合宿レポート?」を予定しています★

来たれ! 投稿戦士!

WACATE-Magazine では“ソフトウェアテストや品質に関する記事”を常に募集中です。

来たれ! 投・稿・戦・士!!!

WACATE-Magazine はボランティアベースで発行されています。したがって原稿料は出ません。※ノーギャラです。

投稿いただいた原稿の掲載可否、掲載時期については編集部で決定させていただきます。

特定の商用ツールやサポートなど営利色が強い原稿は原則として掲載いたしません。

レイアウトなどは全て編集部で行います。また、特に戻り確認などは行いません。

単なる論文は掲載しません。紙面の雰囲気を読んだ、イイ感じな文体や内容をお願いします。

公序良俗に反すると思われるものについても掲載しません。

以上を了解した上で、覚悟完了! の方はWACATE-Magazine 編集部「magazine@wacate.jp」まで、是非ご連絡ください。

折り返し、担当より要綱をご連絡いたします。

楽しい、そして役に立つ紙面にするため、是非ご協力いただければ幸いです♪

☆その他、WACATE-Magazine では以下の情報をお待ちしています☆

- 書籍情報(オススメ書籍情報も可)
 - イベント情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
 - 勉強会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
 - オフ会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
 - デザート情報(甘いものならなんでも。イカス! やつで。)
- などなど、お待ちしております♪

WACATE
Workshop for Accelerating C-ABLE Testing Engineers

来たれ
次世代の
戦士達よ!!!

WACATE実行委員募集中♪

★★★ WACATE 実行委員募集中 ★★★

編集後記

いいんちゅ★3月はメイっぱい観劇するぞっ!

きたー★只今禁煙中。来月まで続いているかどうか…-y(´Д`)。oO

よなだ★東京マラソン出たかったなあ〜、来年は当選しますよーに!

あたべ★スキー特訓やり直しです。理論を強化しよう!

コヤマン★久しぶりにしよーもない記事が復活w夏の準備もがんばりまーす+

きぎん★チューリップの芽がたくさん出てきました。春は確実に近づいてきていますね

はれいん★梅を眺めながら自転車通学ちゅ♪春ですなあ〜

あらかみ★3月だって言うのに、寒い日が続いていますね…皆さん、お躰にはお気をつけくださいな。

★あくづり★

2010/03/06(sat)はっこ

WACATE-Magazine へんしゅ

✉magazine@wacate.jp

<http://wacate.jp/magazine/>